

## 第7回 癒す

抑留当初、毎日の重労働に加えて食糧事情や衛生状態が悪い収容所生活で、その日その日を生き抜くことだけで精一杯でした。そうした厳しい抑留生活の中でも、日々の生活に精神的なゆとりと癒しを求める娯楽用具を作る抑留者もいました。それは麻雀であったり、音楽であったり、野球であったり様々でした。当然、道具などないので、一から手作りする必要がありました。抑留者の中には、手先の器用な人も多くいて、麻雀牌をはじめ楽器やバットなどを手作りしました。

今回は、そんな手作りの娯楽用具の中から麻雀牌と花札を紹介します。

### ○ 麻雀牌（館内展示品）

（麻雀牌）  
シベリアの白樺で  
作られた141個

（サイコロ）  
ジュラルミンで  
作られた2個



### ○ 花札

少年兵が、モンゴルのウランバートルの食品工場で労働させられていた時に段ボールを利用して自作しました。

